

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

# 住民協ひろば

第47号（準備会から通算第68号）

発行日 令和3年3月10日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

## ・・・2021年度総会のご連絡・・・

4月24日（土）14:00～16:00 久木会館で実施致します。

但し、新型コロナウイルスの感染状況によっては書面総会となる可能性もあり、その際は4月上旬に会員の皆様にお知らせ致します。又 当日欠席の方は、委任状を久木会館宛ファックス（Fax No 871-7775）にてご送付頂きます様、お願い申し上げます。

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、活動は抑制的なものとならざるを得ませんでした。各事業部会ともその中であつても工夫を凝らし with コロナを意識した活動を模索しております。皆さまの参加をお願い致します。

尚、当日体調の優れない方は参加をお控え下さい。

事務局長 石井 達郎

## 令和3年2月度役員会

令和3年2月度役員会は、緊急事態宣言発令のため休会といたしましたので記載事項はありません。尚、2021年度総会については、3月度

役員会にて4月25日に開催することに決定いたしました。（上記枠内記事参照）

## 《トピックス》

### ジャガイモ：世界の歴史を変えた!!

3月はジャガイモの植付けの月、皆様の家庭菜園でも種イモを切って植付けされることでしょう。6月には、狭い畑からこんなに沢山採れるのかと思うぐらい収穫することが出来ます。このジャガイモが世界の食糧危機を救ったといっても過言ではないでしょう。

ジャガイモは米・麦・とうもろこしと並んで世界4大作物といわれるほど、重要な作物です。特に冷涼な気候が栽培に適しているため、寒冷な北欧で大量に消費されておりロシアやジャガイモに縁の深いアイルランド（後出）では、一人当たりの消費量が日本の5倍程度になっています。日本人は年間一人当たり20キロ程度を消費しています。

ジャガイモは南米アンデス地方の高地が原産地、スペイン人によって欧州にもたらされましたが、薯というものは当時の欧州人になじみがなく、しばらくの間は食糧としては広がりませんでした。17世紀に入って、度重なる戦争と飢餓のたびに広がり始めました。麦は踏み荒らされたり貯蔵庫が略奪されたりしますが、じゃがいもは地面にもぐっているため踏み荒らされることがなく、必要な時に掘りだせばよいから戦争の被害が少なく、そして何よりも、寒冷地では麦よりも収量が大きいので飢饉に強かったからです。

当時、慢性的な飢饉にあえいでいた北欧地域が、小麦の三倍の収量が得られるといわれたジャガイモが普及することにより、繁栄の基礎が出来上がったのです。

北欧の歴史の中で悲劇として特筆されるのは、アイルランドのジャガイモ飢饉です。アイルランドでは気候がジャガイモ栽培に適していたこともあって、17世紀から栽培が始まり、農民の主食となっていました。ところが1845年頃から50年頃にかけて、ジャガイモの疫病が大発生して不作となり大飢饉に陥り、施策の不利も重なって100万人が死亡、同時に移民として新大陸アメリカを目指して200万人を超える人々が国を離れたといわれています。当時のアイルランドの人口は800万人強、今もってそこまで人口が回復できていません。因みに当時の移民の子孫からケネディ大統領やレーガン大統領が誕生しました。

日本に渡来したのは、1600年頃にジャガタラ（ジャカルタ）からオランダ人によるとされており、ジャガタライモと呼ばれたのがジャガイモに変わったといわれています。江戸時代救荒作物として山梨や北海道で栽培されましたが、本格的に普及するのは明治に入ってから、気候風土が栽培に適した北海道で栽培が始まってからです。その時導入されたのが「男爵」、川田龍吉男爵（当時函館ドック専務）がイギリスから導入したのでその名が付きましました。この「男爵」が今でもメイクイーンと並んでジャガイモの双璧になっています。



写真は種薯、わずかに芽が出ています。

川田男爵は、時代の先端を行く人で日本最初のオーナードライバーといわれており、愛用した日本

最初の輸入自動車（蒸気エンジン車）は、氏が最後に尽力した農場があった北斗市に残されているそうです。

ジャガイモは、前年に採れた薯を植えることにより増やしていくのでこの種薯が大切であるとともに、ジャガイモには大きな被害ももたらす害虫や疫病の発生があるので、種薯は法律で検疫が規定されており、例外を除いて検疫をパスした種薯を購入して栽培します。

関東地方では、春と秋の2回収穫できます。春は3月中旬に植えて6月中旬に収穫、短期間で収穫できる嬉しい野菜です。一方でジャガイモは連作を嫌うとされています。同じ場所に毎年ジャガイモを栽培すると、土の栄養バランスや繁殖している微生物のバランスが崩れて、生育に悪い影響を与えるせいでしょう。それを避けるために、休閑期にたっぷりと堆肥を入れて深く耕しておくことが大切だと思います。私の畑から今年も朝市に「男爵」を提供出来るように、植え付けを行いました。

コロッケにポテトサラダ、そして肉じゃが・ポテトチップスとメニューも豊富です。今夜はどんなジャガイモ料理が食べられるか楽しみです。

鈴木 為之（山の根在住）

事務局より・・・

緊急事態宣言発令により、市民交流センターの印刷機が直近まで使用できなかったため、発行が例月より遅れたこと、ご了承ください。

### 編集後記

昨年英国で孤独相なる担当大臣が政府に設置されたというニュースに接して英国も日本同様、高齢化が進み、一人で生活する高齢者、高齢のご夫婦が社会問題となっていることを知った。

ところが最近日本でも、政府では孤独担当相として、地方創成大臣が兼務するというニュースが流れた。

日本でも高度経済成長期は核家族の時代と云われたが、子供が成長すると共稼ぎで住職接近の住環境を求めて郊外の親の世帯を離れ、子供世帯は都心に居を構えるケースも多いと聞く。

聞くところによると、逗子でも1,000名を超える人々が独居老人世帯だと云う。

「遠くの親戚より、近くの他人」これを地域で温かく支え合う、そんな地域であり度い。

事務局長 石井達郎